



令和4年度 決算概要

令和4年度の決算状況についてお知らせします。

1 総括事項

令和4年度におきましては、持続可能な地域医療提供体制を確保するため「公立病院経営強化ガイドライン」が国から示されたことを踏まえ、公立高畠病院経営強化プラン策定委員会を設置し策定作業を進め、令和5年3月に「公立高畠病院経営強化プラン」を策定し、置賜地域保健医療協議会において同意をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の対応には昨年度同様に大変苦慮いたしましたが、限られた職員体制と診療体制の中で適切に対応を行うとともに、プランに掲げた数値目標の達成に向け最善を尽くし、地域の方々に質の良い医療を提供するよう努めてまいりました。

営業成績につきましては、入院患者の減少により入院収益が減少いたしましたが、外来収入の増加及び新型コロナウイルスワクチン接種に係る収入の増加等により、経常収支は9年連続の黒字決算となりました。

2 収支の状況（消費税除き）

総収益では外来収益、医業外その他の増により総収益は対前年比63,596千円の増となり、経常収益も対前年比63,087千円の増となりました。

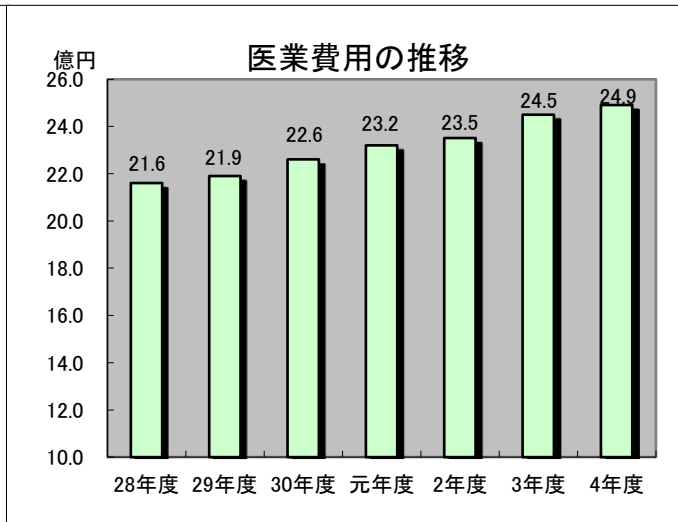
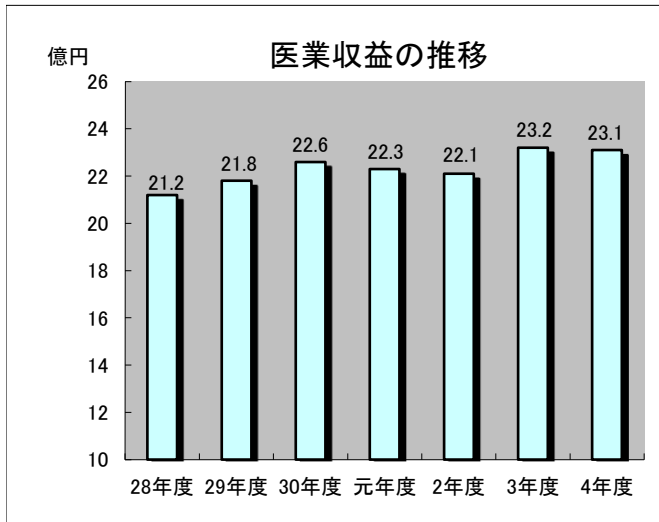
一方費用では材料費及び経費の増により総費用で対前年比34,478千円の増となりました。

総収支では前年度より29,118千円増加し、160,391千円の純利益を計上することとなりました。また、経常収支では対前年比30,669千円増加し、171,356千円の経常利益を計上することとなりました。

(単位:千円)

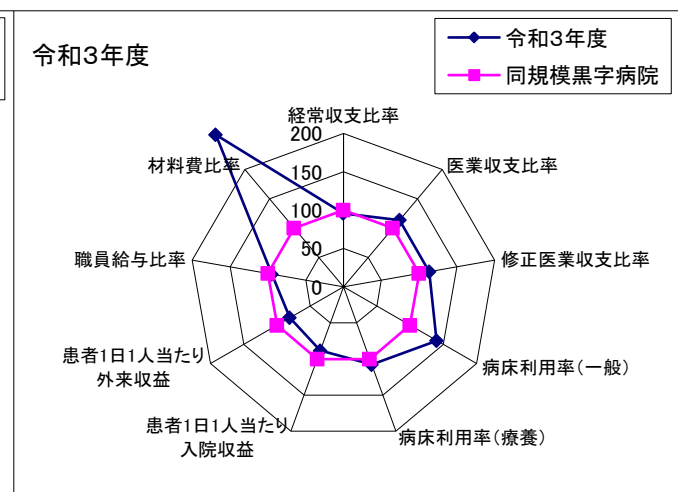
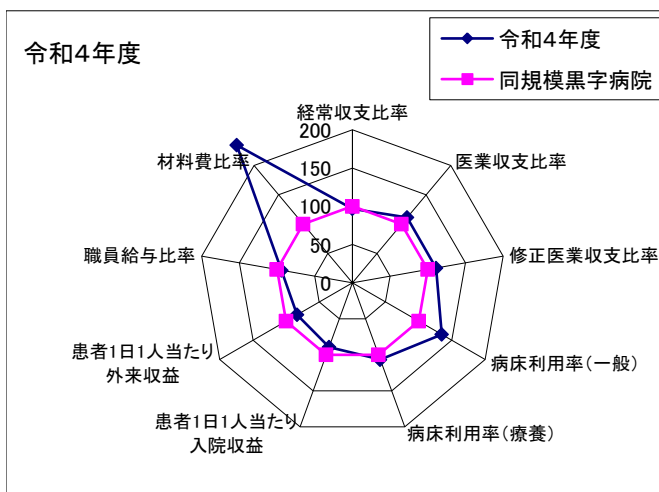
項 目		4年度	3年度	前年比
医 業 収 益	入 院 収 益	1,327,585	1,354,251	98.0%
	外 来 収 益	604,748	593,324	101.9%
	そ の 他	377,431	377,414	100.0%
医 業 外 収 益	負 担 金	156,407	133,260	117.4%
	そ の 他	286,124	230,959	123.9%
特 別 利 益	特 別 利 益	2,365	1,856	127.4%
総 収 益		2,754,660	2,691,064	102.4%
医 業 費 用	給 与 費	1,612,312	1,607,944	100.3%
	材 料 費	174,354	156,972	111.1%
	経 費	543,886	518,064	105.0%
	減 価 償 却 費	152,803	164,109	93.1%
	資 産 減 耗 費	1,360	960	141.7%
	研 究 研 修 費	3,293	4,017	82.0%
医 業 外 費 用	医 業 外 費 用	92,931	96,455	96.3%
特 別 損 失	特 別 損 失	13,330	11,270	118.3%
総 費 用		2,594,269	2,559,791	101.3%
総 収 支		160,391	131,273	122.2%





3 経営指標等

主要指標の同規模黒字病院との比較



※同規模黒字病院経営指標(令和3年度実績)の平均値を100とした場合の当院の令和3年度・令和4年度それぞれの実績との経営指標数値の割合を示したものである。

※当院及び黒字病院の経営指標数値が類似黒字病院の平均値を上回っている場合(職員給与比率及び材料費比率については下回っている場合)に類似病院の線の外側に表示される。

(単位: %、円)

項目	令和4年度	令和3年度	増減	改善方向	類似黒字病院
経常収支比率	106.6	105.5	1.1	↑	110.3
医業収支比率	92.8	94.8	△ 2.0	↓	83.3
修正医業収支比率	88.0	89.9	△ 1.9	↓	79.1
病床利用率(一般)	88.3	91.7	△ 3.4	↓	65.4
病床利用率(療養)	83.1	83.9	△ 0.8	↓	77.9
患者1日1人当たり入院収益	32,282	31,967	315	↑	36,179
患者1日1人当たり外来収益	8,809	8,529	280	↑	10,557
職員給与比率	69.8	69.2	0.6	↓	65.7
材料費比率	7.5	6.8	0.7	↓	17.6

※改善方向については令和3年度と比較して↑が改善、↓が悪化したことを示している。

【収支構造】

○経常収支比率 $\text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$

病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するためには、適正な負担区分を前提として、この比率が100%以上あることが望ましい。

○医業収支比率 $\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$

医業費用が医業収益によってどの程度賅われているかを示す指標。経常収支比率と同様、この比率が100%以上あることが望ましい。

○修正医業収支比率 (医業収益－他会計負担金)÷医業費用×100

医業収益から他会計負担金を引いた実質収益によってどの程度賄われているかを示す指標。

【収入構造】

○病床利用率 年延入院患者数÷年延病床数×100

病院の施設が有効に活用されているかどうか判断する指標。病床利用率が恒常的に低い場合には、病床規模が適切か否か検討する必要があります。

○患者1人1日当たり入院収益 入院収益÷年延入院患者数

○患者1人1日当たり外来収益 外来収益÷年延外来患者数

病院の収入分析をするうえで最も基本的な指標。料金収入を増加させるためには、患者数という量的な要素と1人当たりの収入という質的な要素が重要となります。

【費用構造】

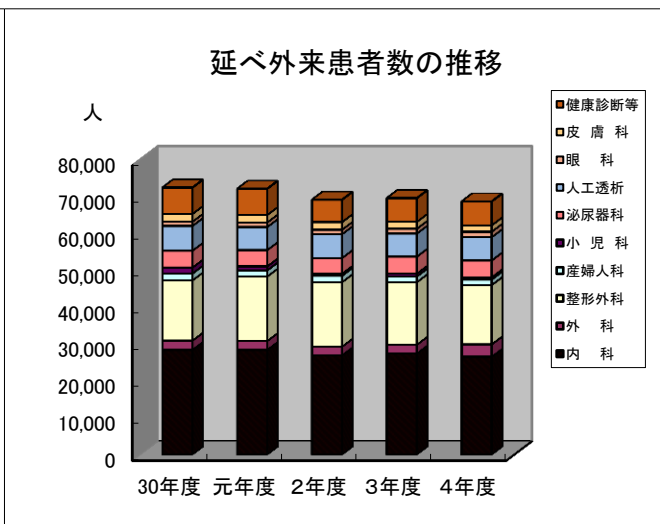
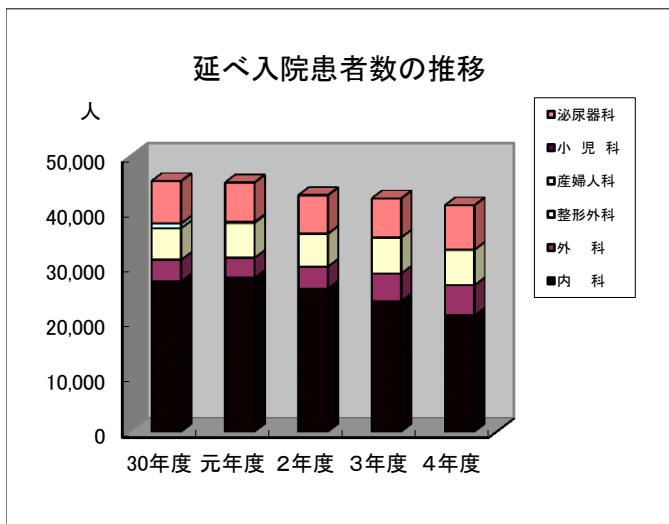
○職員給与比率(職員給与対医業収益比率) 職員給与費÷医業収益×100

病院の職員数等が適切か否かを判断する指標。職員給与費をいかに適切なものとするかが病院経営の重要なポイントとなります。(職員給与費には退職手当負担金、児童手当を含まない。)

○材料費比率(材料費対医業収益比率) 材料費÷医業収益×100

病院において材料費は、職員給与費に次いで大きなウェイトをしめる医業費用。この比率が高い場合には、材料の購入価格(方法)を見直し、材料費の節減を図る必要があります。

4 患者数の推移



(入院)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
内科	27,320	27,962	25,987	23,725	21,128
外科	3,931	3,649	4,012	5,034	5,511
整形外科	5,726	6,337	5,934	6,520	6,418
産婦人科	841	153	37	2	8
小児科	49	23	10	0	5
泌尿器科	7,658	7,142	6,969	7,083	8,055
合計	45,525	45,266	42,949	42,364	41,125

※当日退院患者含む

(外来)

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
内科	28,437	28,434	26,960	27,448	26,572
外科	2,524	2,422	2,359	2,408	3,361
整形外科	16,307	17,469	17,480	16,944	16,094
産婦人科	1,853	1,651	1,726	1,540	1,470
小児科	1,631	1,106	556	767	609
泌尿器科	4,567	4,409	4,257	4,612	4,574
人工透析	6,722	6,248	6,459	6,257	6,303
眼科	1,137	1,242	1,213	1,300	1,481
皮膚科	2,098	2,027	2,071	1,874	1,738
健康診断等	7,128	7,086	6,038	6,415	6,446
合計	72,404	72,094	69,119	69,565	68,648